

自創作設定資料集

夏見 馨

更新: 2025-12-07

目次

第1章 キャラクター	3
1.1 山口 岬	3
1.1.1 基本情報	3
1.1.2 見た目	3
1.1.3 人物	3
1.1.3.1 性格	3
1.1.3.2 趣味	3
1.1.3.3 苦手なこと	3
1.1.3.4 好きなたべもの	4
1.1.3.5 嫌いなたべもの	4
1.1.4 生活	4
1.1.5 人称	4
1.1.5.1 一人称	4
1.1.5.2 二人称	4
1.1.6 口調	4
1.2 香椎 琴音	4
1.2.1 基本情報	4
1.2.2 見た目	4
1.2.3 人物	5
1.2.3.1 性格	5
1.2.3.2 趣味	5
1.2.3.3 苦手なこと	5
1.2.3.4 好きなたべもの	5
1.2.3.5 嫌いなたべもの	5
1.2.4 生活	5
1.2.5 人称	6
1.2.5.1 一人称	6
1.2.5.2 二人称	6
1.2.6 口調	6
1.3 天ヶ瀬 奏海	6
1.3.1 基本情報	6
1.3.2 見た目	6
1.3.3 人物	6
1.3.3.1 性格	6
1.3.3.2 趣味	6
1.3.3.3 苦手なこと	6
1.3.3.4 好きなたべもの	6
1.3.3.5 嫌いなたべもの	6
1.3.4 生活	7
1.3.5 人称	7
1.3.5.1 一人称	7
1.3.5.2 二人称	7
1.3.6 口調	8

1.4 私服	8
第2章 世界観—京原—	8
2.1 京原市概説	8
2.1.1 京原	8
2.1.2 秋日町	8
2.1.3 春葉原	9
2.1.4 東浜	9
2.1.5 沼岸	9
2.1.6 新賀・小鳥	9
2.1.7 姉丘	9
2.1.8 上留集落	9
2.2 京原県立東浜第二中学校	9
2.2.1 教務体制	9
2.2.2 制度	9
2.2.3 開講科目	10
2.3 交通事情	12
2.3.1 鉄道省線	12
2.3.1.1 東西本線	12
2.3.1.1.1 急行・特急	12
2.3.1.1.2 快速・新快速	13
2.3.1.1.3 各駅停車	13
2.3.1.2 古岡線	13
2.3.1.2.1 快速	13
2.3.1.2.2 各駅停車	13
2.3.1.3 下田線	13
2.3.1.4 京百線	14
2.3.1.4.1 急行	14
2.3.1.4.2 快速	14
2.3.1.4.3 各駅停車	14
2.3.1.5 丘線	14
2.3.1.5.1 急行・特急	14
2.3.1.5.2 快速	14
2.3.1.5.3 各駅停車	14
2.3.1.6 上留線	14
2.3.1.6.1 快速	14
2.3.1.6.2 各駅停車	15
2.3.2 バス	15
2.3.2.1 県営バス	15
2.3.2.2 私営バス	15
2.3.3 高速道路	15

**YAMAGUTI Misaki
山口岬**

Height: 149 cm
Weight: 42.5 kg
77 - 56 - 78

隣近のマンションのまあまあ高い階に住んでいる。父は出張しており、母も深夜まで帰ってきてす。また兄は一人暮らししていることから、家にはあんから自分一人しかいない。無頼の読書好きであり、一度本の世界に入り込んだら出でこられない。そのせいで、何度も電車を降りそこねたことがある。背が小さく、知らない大人に小学生に間違われるのも少し悩んでいる。

なまえ | やまぐち みさき
ラテン文字 | YAMAGUCHI Misaki
誕生日 | 4月 15日
年齢 | 14歳
身長 | 149 cm
体重 | 42.5 kg
ローレル指数 | 128 kg/m³
BMI | 19.2 kg/m²
血液型 | A
靴 | 22 cm
3サイズ [cm] | 77-56-78
居住 | 秋日町駅周辺
学校 | 京原県立東浜中学校 2年7組
50m走 | 8.51 s

図 1: 山口岬の基本情報

第1章 キャラクター

1.1 山口 岬

1.1.1 基本情報

表図 1 を参照。

1.1.2 見た目

表表 1 を参照。

1.1.3 人物

1.1.3.1 性格

控えめ、真面目、恥ずかしがり。

1.1.3.2 趣味

読書、睡眠、料理。

1.1.3.3 苦手なこと

運動。ホラー。

髪色	黒
髪型	前髪ありボブ；ただし触角が非常に長い
目の形	タレ目
目の色	黒

表 1: 山口岬の見た目

1.1.3.4 好きなたべもの

お魚、お茶、アイスクリーム。

1.1.3.5 嫌いなたべもの

脂だらけの肉。

1.1.4 生活

駅近のマンションのまあまあ高い階に住んでいる。父は遠い街に出張しており、母も深夜まで帰ってこず、また兄は大学近くに一人暮らししていることから、家にはふだんから自分一人しかいない。したがって、本人が趣味だといっている料理は、趣味というより必然的に身についたものである。

無類の読書好きであり、一度書中の世界に入り込んだらなかなか出てこられない。かかる事由で電車を乗り過ごした例は枚挙にいとまがない。

成績はかなりよく、どの科目でもたいてい 85–95 点をとっている。ただ、数学と理科は奏海にはぎりぎり及ばない。

脊をはじめとしていろいろが小さいことを気にしている。このあいだ水族館に行ったとき、館員さんに小学生に間違われたことをまだ鮮明に覚えているほどである。しかし、その小動物性から親友の琴音と奏海には甚だしくかわいがられている。

1.1.5 人称

1.1.5.1 一人称

私

1.1.5.2 二人称

表表 2 を参照。

1.1.6 口調

「～だよ」、「～よね」等々。

1.2 香椎 琴音

1.2.1 基本情報

表図 2 を参照。

1.2.2 見た目

表表 3 を参照。

対男性汎用	{名字}くん（同輩または年下）、{名前}くん（やや親しい以上）、{名字}さん（年上）、{名字}先輩（同学校内年上）
対女性汎用	{名字}さん（同輩または年下または年上）、{名字}先輩（同学校内年上）
琴音	琴音ちゃん
奏海	奏海ちゃん
父	お父さん
母	お母さん
祖父、外祖父	おじいちゃん
祖母、外祖母	おばあちゃん
兄	お兄ちゃん

表 2: 山口岬の二人称



なまえ	かしい ことね
ラテン文字	KASHII Kotone
誕生日	8月 12日
年齢	14歳
身長	155 cm
体重	47 kg
ローレル指数	126 kg/m ³
BMI	19.6 kg/m ²
血液型	B
靴	24 cm
3 サイズ [cm]	85-60-84
居住	沼岸駅周辺
学校	京原県立東浜中学校 2年 7組
50 m 走	7.93 s

図 2: 香椎琴音の基本情報

1.2.3 人物

1.2.3.1 性格

明るい。ちょっと小悪魔的かも。飽きっぽい。

1.2.3.2 趣味

カッコイイものとカワイイもの：アイドルグループなど（男女問わず）。バスケ。

1.2.3.3 苦手なこと

継続すること、とくに勉強。

1.2.3.4 好きなたべもの

パスタ、甘いお菓子全般。

1.2.3.5 嫌いなたべもの

なし。

1.2.4 生活

郊外の一軒家に父、母、妹と4人で住む。

カッコイイ男とカワイイ女に目がなく、スマホのロック画面は韓流女子アイドルグループの写真になっており、お部屋の壁もそういうポスターだらけである。

髪色	黒
髪型	ぱつん前髪触角ありボニーテール
目の形	タレ目
目の色	黒

表 3: 香椎琴音の見た目

対男性汎用	{名字}くん (同輩または年下)、{名前}くん (知ってる人)、{名前} (やや親しい以上)、{名字}さん (年上)、{名字}先輩 (同学校内年上)
対女性汎用	{名字}さん (同輩または年下または年上)、{名前} (やや親しい以上)、{名字}先輩 (同学校内年上)
岬	岬、岬ちゃん
奏海	奏海
父	パパ
母	ママ
祖父、外祖父	じいじ
祖母、外祖母	ばあば

表 4: 香椎琴音の二人称

成績は平均より少しよい程度である。これは毎回々々テスト前に奏海に泣きついて勉強を教えてもらうことで保っている。

岬とは小学校からの仲で、小動物のようにかわいがっており、しきりにひつついている。岬も特にうつとうしくは思っていない。

1.2.5 人称

1.2.5.1 一人称

私、琴音

1.2.5.2 二人称

表表 4 を参照。

1.2.6 口調

「～だよ」、「～よね」等々。

1.3 天ヶ瀬 奏海

1.3.1 基本情報

表図 3 を参照。

1.3.2 見た目

表表 5 を参照。

註：タイツ娘。色は黒。

1.3.3 人物

1.3.3.1 性格

陽気。おちゃらけている。

1.3.3.2 趣味

アニメ、プログラミングと電子工作。

1.3.3.3 苦手なこと

走ること。ブルースクリーン。

1.3.3.4 好きなたべもの

焼肉、ポテチ。

1.3.3.5 嫌いなたべもの

特になし。



なまえ	あまがせ かなみ
ラテン文字	AMAGASE Kanami
誕生日	12月 15日
年齢	14歳
身長	156 cm
体重	47 kg
ローレル指数	124 kg/m ³
BMI	19.3 kg/m ²
血液型	O
靴	24 cm
3サイズ [cm]	84-60-81
居住	春葉原駅周辺
学校	京原県立東浜中学校 2年7組
50m走	8.60 s

図 3: 天ヶ瀬奏海の基本情報

1.3.4 生活

電気とオタクの街春葉原（はるばはる）の一軒家に父、母と住む。

電気工作やプログラミングが趣味で、よく変なものを作っている。この趣味は業界ではなかなか名のしれた電子製品業界に勤める父譲り。アニメもかなり見るので、3人でよく語り合っている。

校内で数学・理科において奏海の右に出るものはいない。趣味のために必要な知識が中学校でしていることを大きく超えているためである。そのため、琴音からはテストのたびに頼られ—もはや、依存—されている。他方、岬には文系科目で頼っている。

中学校入学当初は岬よりも寡黙な性格であったが、席が隣だった琴音からよく話しかけられ、それに岬も交じるようになって徐々に心を開いてゆき、今に至っている。

喋りに方言が交じるのは親の影響。

1.3.5 人称

1.3.5.1 一人称

私

1.3.5.2 二人称

表表 6 を参照。

髪色	黒茶
髪型	ぱつん前髪ロング、前髪側部外ハネ
目の形	タレ目
目の色	黒茶

表 5: 天ヶ瀬奏海の見た目

対男性汎用	{名字}くん（同輩または年下）、{名前}くん（知ってる人）、{名前}（やや親しい以上）、{名字}さん（年上）、{名字}先輩（同学校内年上）
対女性汎用	{名字}さん（同輩または年下または年上）、{名前}ちゃん（やや親しい以上）、{名字}先輩（同学校内年上）
岬	岬
奏海	奏海
父	父さん
母	母さん
祖父、外祖父	じいちゃん
祖母、外祖母	ばあちゃん

表 6: 天ヶ瀬奏海の二人称

1.3.6 口調

基本的に標準語だが、時折方言が混じる。「しよる」（している）、「～よな」、「～けー」（～だから）等々。

1.4 私服

3人の私服を図 4 に示す。

第 2 章 世界観 —京原—

2.1 京原市概説

京原市（みやこのはるし）という。人口: 78 万人。もともとは人口 8 万程度のしがない地方都市であったが、15 年前に半導体およびその関連企業が近隣に工場をこぞって建設したことにより大発展を遂げた。

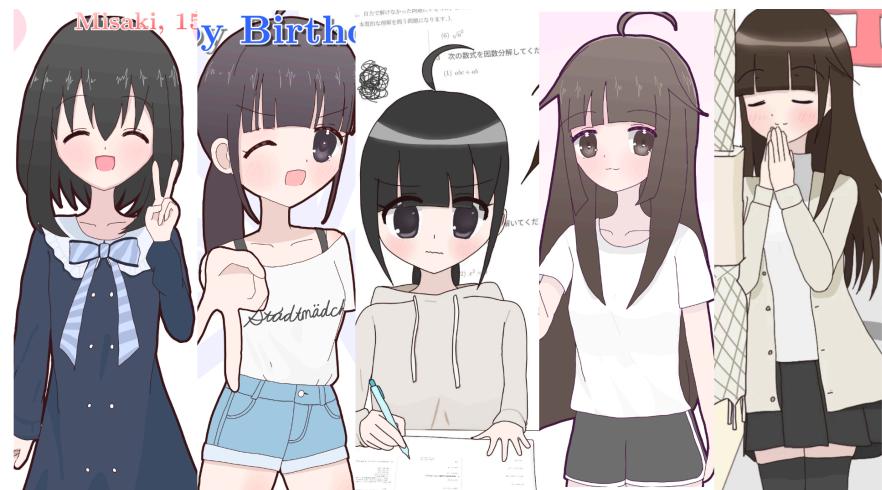
下より主要な地域を紹介する。

2.1.1 京原

みやこのはる。京原市および京原県の中枢であり、県庁、市役所、警察などの本部が存在する。鉄道省ターミナル駅「京原駅」も存在する。

2.1.2 秋日町

あきひまち。岬の住む町。京原激近の住宅街。秋日町駅周辺は背の高いマンションが多い。



岬：夏 岬：冬 琴音：夏 琴音：冬 奏海：夏 奏海：冬

図 4: 私服

2.1.3 春葉原

はるばはる。電気街・オタク街。駅の目抜き通りは巨大家電量販店やアニメ専門店、同人誌販売店などが並ぶにぎやかな道であるが、一方ひとたび路地に入ると何に使うのかよくわからない電気部品を売る変な露天街があったり、独特な雰囲気のフィギュアショップがあったり、ドクター〇ッパーしか売ってない自販機があったりと混沌とした景色がみられる。

奏海はここに住む。

2.1.4 東浜

ひがしはま。もう一つの京原中心部に近い住宅街。こちらはより庶民的である。岬たちの通う中学校はここにあり、付近はカラオケ、ファミレスなどと中高生がおこづかいで行けるような施設は整っている。

2.1.5 沿岸

ぬまぎし。京原のベッドタウンとして住宅街が並ぶ。琴音はここに住んでいる。

2.1.6 新賀・小鳥

にいが、ことり。半導体関連企業が数多く並び、現在の京原地区の主要産業の1つを成している。

2.1.7 鳩丘

はとおか。京原から列車に40分程度乗ると着く。きれいな川と伝統的な木造建築の流れる景観のよい町。その美しさによって観光客がたくさん訪れており、地域の経済に貢献している。

岬の祖母が住んでいる。

2.1.8 上留集落

うわどめしゅうらく。京原から列車に1時間以上乗ると着く。上留炭鉱とその従事者家族の家屋からなる集落。現在は炭鉱場の操業が停止しほとんどの住民はもう住んでいないが、近代はここに人口が集中しており、いまも年末年始・お盆において先祖供養などのために多くの人々が向かう。また近代産業の遺産として観光に来る人もいる。

2.2 京原県立東浜第二中学校

東浜地区にある、岬たちの通う県立の中学校。近隣に市立中学校も存在し、通常はそちらに入学することになるのだが、小学校6年生時点で上位40%以内の成績があること、または小学校長からの推薦を条件に、この学校を選択することもできる。すなわち「まあまあ頭のいい学校」であり、ある程度の落ち着いた環境が保証され、また生徒は周囲からは一目置かれている。

1学年9学級で、生徒数はおよそ620人；少人数学級制を採用しており、原則として1学級は25人を超えることはない。教員数は63人、事務職員は12人。

自由な校風を標榜しており、校則は他の公立中学校よりはいくぶんか寛容である。中庭にコンビニが出店しており（ただし07:00-17:00のみ営業する。）、食べ物・飲み物・お菓子・文房具が廉価に購入できる。他校のような給食はないが、代わりにその給食業者が委託され運営している食堂（ただし11:00-13:00のみ営業する。）が存在し、多くの生徒はそこかコンビニ、または持ち込んだ弁当で昼食をとる。

2.2.1 教務体制

表表7を参照。

2.2.2 制度

3学期制。単位制（50分を1単位時間とし、1週間あたり1単位時間の1学期の授業を1単位とする。）。卒業までに必修単位すべてを習得した上、168単位以上を取得する必要がある。単位の獲得要件は総合評価60点であるが、これに満たない場合は別途教員より示される課題を提出し認められれば60点とされる。

総合評価は基本的に試験点70%、課題点30%の加重平均または試験点100%のうちどちらか高い方と定義され、表8のように読み替えられる。

校長			1
副校長			1
主幹教諭			2
指導教諭			2
教諭	合計		42
	国語		8
	社会		6
	英語		6
	数学		6
	理科		6
	家庭科		1
	技術		2
	美術		2
	保健体育		3
講師	音楽		2
	合計		10
	数学		3
	理科		2
	英語		4 ¹
養護教諭	家庭科		1
	合計		2
	数学		2
	家庭科		1

表 7: 教務体制

総合評価	評語	一般的な 5 段階評価
90 – 100	AA	5
80 – 89	A	5
70 – 79	B	4
60 – 69	C	3
30 – 59	D	2
0 – 29	E	1

表 8: 評価基準

2.2.3 開講科目

表 9 を参照。

種別	科目名	期間	1年	2年	3年	記事
必修科目	国語 I	通年	12			
	国語 II	通年		9		
	国語 III	通年			9	

¹うち外国人または外国出身が²。

種別	科目名	期間	1年	2年	3年	記事
	英語 I	通年	9			
	英語 II	通年		9		
	英語 III	通年			9	
	社会総合	一部	4			1年1,2学期に開講
	地理 I	一部	2			1年3学期に開講
	地理 II	一部		2		2年1学期に開講
	歴史	一部		4		2年2,3学期に開講
	公民	一部			4	3年1,2学期に開講
	数学 I	通年	9			
	数学 II	通年		6		
	理科総合	通年	9			
	音楽 I	一部	1			1年1学期に開講。試験：課題 = 5 : 5
	美術 I	一部	1			1年2学期に開講。試験：課題 = 5 : 5
	書道 I	一部	1			1年3学期に開講。試験：課題 = 5 : 5
	技術基礎	一部	1			1年1学期に開講。試験：課題 = 5 : 5
	情報 I	通年		3		
	家庭科基礎	一部	1			1年3学期に開講。試験：課題 = 5 : 5
	保健体育	通年	3	3	3	試験：技能 = 5 : 5
	総合	通年	3	3	3	課題のみによる評価
	道徳	通年	1	1	1	各2学期に開講。課題のみによる評価
	単位数合計		57	37	26	総計：120
選択科目	文学 I	通年		6		古典 I と同時開講
	古典 I	通年		6		文学 I と同時開講
	文学 II	通年			6	古典 II と同時開講
	古典 II	通年			6	古典 II と同時開講
	上級数学 I	通年		3		
	上級数学 II	通年			6	
	物理化学 I	通年		6		
	物理化学 II	通年			6	
	生物地学 I	通年		6		
	生物地学 II	通年			6	
	上級理科 I	一部		4		2年2,3学期に開講
	上級理科 II	通年			6	
	音楽 II	通年		3		試験：課題 = 5 : 5
	美術 II	通年		3		試験：課題 = 5 : 5
	書道 II	通年		3		試験：課題 = 5 : 5
	音楽 III	通年			3	試験：課題 = 5 : 5
	美術 III	通年			3	試験：課題 = 5 : 5
	書道 III	通年			3	試験：課題 = 5 : 5

種別	科目名	期間	1年	2年	3年	記事
	電気 I	一部	2			1年2,3学期に開講。試験のみによる評価
	電気 II	一部		1		2年1学期に開講。試験のみによる評価
	木工 I	一部	2			1年2,3学期に開講
	木工 II	一部		1		2年1学期に開講
	電気 III	通年			3	試験のみによる評価
	情報 II	通年			3	
	調理	通年		3		試験：課題 = 5 : 5
	裁縫	通年			3	試験：課題 = 5 : 5
	履修可能単位数合計	4	33	39		総計：76
全履修可能単位数合計		61	70	65		総計：196

表 9: 開講科目

2.3 交通事情

交通は鉄道省による鉄道路線と、県営・私営バスが走っている。高速道路も整備されている。

2.3.1 鉄道省線

京原駅を中心に、近隣に 6 路線が存在する。一等 (JR の DX グリーン、グランクラス車相当)、二等 (JR のグリーン車相当)、三等 (JR の普通車相当) の 3 等級制を採用しており、運賃が異なる。路線図は図図 5 を参照。

2.3.1.1 東西本線

英語名は *East-West Main Line*。全線電化（交流 60 Hz、25000 V）。田岡-古橋間、沼岸-竿干間は単線、その他は複線。各駅停車、快速、新快速、急行、特急の 5 種別が走る。最高速度は田岡-古橋間、沼岸-竿干間は 110 km/h、古橋-沼岸間は 130 km/h。路線アルファベットは京原以西が NB、京原以東が NA。

2.3.1.1.1 急行・特急

急行列車は田岡-竿干間を1時間40分-1時間50分で結ぶ電車急行「すずめ」、新百線百枝より沸ノ水から直通し竿干に至る気動車急行「のざくら」がそれぞれ2時間に1本程度の頻度で運行される。すずめは8両編成、のざくらは5両編成で、供食設備としてビュフェ車を1両備える。ビュフェ車では弁当、コーヒー、アイスクリーム、ビール、ソフトドリンク等が購入できる（イートイン・持ち帰り両方可能）。ゴールデン



図 5: 鉄道省線京原電車・気動車区路線図

ウィーク、お盆、シルバーウィーク、年末年始といった多客期は快速とともに+2両程度の増結や2往復程度の増発がなされる。

特急列車は新百線百枝より沸ノ水から直通し竿干に至る気動車特急「TKR」が1往復運行される。料金は割高であり、全席予約が必要である。6両編成で運転され、供食設備としてビュフェ車を1両備える。ビュフェ車の販売物は急行列車と同様である。

2.3.1.1.2 快速・新快速

快速列車は1時間に1本運行されている。利用者数の多い古橋-沼岸間のみの区間列車が主である。6両編成。これらとは別に、古岡線京原大学前-古橋-沼岸を往復する快速「TSR (Train Studia Rapid)」が朝-夕に1時間に1-2本運行されている。6両編成。

急行と遜色ない速達性を持つ新快速も6両編成で運行されており、田岡-竿干の全線を2時間足らずで突っ走る。2時間に1本運行されている。

2.3.1.1.3 各駅停車

田岡-古橋間は海岸の集落を走る線区で利用者が多くないため、ラッシュ時は1時間に3本程度、日中は1時間に1本程度の運行である。多くの列車は京原中心部まで直通するが、田岡-古橋の区間便も存在する。中心部直通列車は3-6両編成、区間便は3両編成で走る。この区間は単線であって、ダイヤは快速・急行などの優等列車が優先となるように組まれているため、追い越しや行き違いで駅での長時間停車を強いられる。したがって、速達性は低い。

古橋-沼岸は特に利用者が多い区間で、ラッシュ時1時間3-6本、日中は1時間に2-3本程度運行されている。6両編成。複線であるが、優等列車が多く走るため、しばしば追い越しのために道を譲ることが多い。

沼岸-竿干は田岡-古橋ほどではないが利用者が少なく、1時間に1-3本ほどの運行がなされる。

全区間を走破する各駅停車は3時間に1本程度である。一方から他方へは2時間20-50分程度を要する。

2.3.1.2 古岡線

英語名は *Furuoka Line*。全線電化（交流 60 Hz、25000 V）。田岡-京原大学前間は単線、京原大学-古橋間は複線。各駅停車、快速の2種別が走る。最高速度は田岡-京原大学前が85 km/h、京原大学-古橋が110 km/h。路線アルファベットは NF。京原大学前-古橋の利用は東西本線のそれと遜色がない程度であり、もともと全線単線だったところこの区間の複線化の要因となった。田岡-京原大学間は鬱蒼とした山の中の路線であり沿線住民はあまり多くなく、運行規模は小さい。もとは東西本線の一部であったが、海経由（田岡-寒岬-古橋）の短絡線ができそちらを本線としたので、旧線と相成った。

2.3.1.2.1 快速

東西本線沼岸から直通する快速「TSR」が京原大学前まで朝-夕に1時間に1-2本運行されており、6両編成。多客期は東西本線のバイパスとして田岡-古橋の臨時快速列車が3両編成で1時間に2本程度運行される。

2.3.1.2.2 各駅停車

各駅停車は全列車が京原大学-古橋の3両編成の区間便が1時間に3-5本程度、田岡-古橋の全線便が1時間に1本程度。区間便は東西本線と互いに乗り換えられるように時刻が設定されている。

2.3.1.3 下田線

英語名は *Shimoda Line*。全線電化（交流 60 Hz、25000 V）。全線複線。各駅停車のみが走る。最高速度は85 km/h。路線アルファベットは NC。

京原の中核を30分程度かけて1周する。東西本線にはホームがない駅にも停車するので駅間は短く、通勤通学の利用が主である。それゆえ朝夕と昼で利用者数の差が大きいため、朝夕は6両編成で1時間に8本、昼は3両編成で1時間に5本の運行となっている。全線が非採時である。他の路線が直通してくることはない。

2.3.1.4 京百線

英語名は *Keihyaku Line*。全線電化（交流 60 Hz、25000 V）。全線複線。各駅停車、快速の 2 種別が走る。最高速度は 130 km/h。路線アルファベットは ND。

2.3.1.4.1 急行

1 時間に 1 本程度の頻度で京原 – 百枝の急行「いぶき」が運転されており、両者間の移動および空港アクセスの役割を果たしている。

2.3.1.4.2 快速

純粋な「快速」は 1 時間に 1 本程度、6 両編成で運行されている。多くが京原空港と低田のみを行き来するが、朝晩限定で百枝まで延長運転を行う。「区間快速」も別に運転されており、こちらはすべて百枝まで運転する。ただし、京原空港 – 百枝は各駅停車となる。

2.3.1.4.3 各駅停車

低田 – 京原空港が大半であり、1 時間に 3 – 5 本運転する。朝夕は混雑する京原・区切付近の輸送力を高めるため、手前の小鳥駅で折り返すものも設定されている。京原空港 – 百枝については区間快速が各駅停車の役割を果たすため、「各駅停車」の名前を冠した列車はほとんど運行されていない。

2.3.1.5 丘線

英語名は *Oka Line*。全線非電化。全線単線。各駅停車、快速、急行、特別急行の 4 種別が走る。最高速度は 110 km/h。路線アルファベットは NE。

非電化の規模の小さい路線だが、風光明媚な鳩丘地区の存在により観光客の利用が多く、ある程度の頻度での運転がなされている。また東西本線を用いて京原 – 百枝について京百線の代替路としても一応使える。

2.3.1.5.1 急行・特急

百枝より沸ノ水から東西本線に直通し竿干に至る気動車急行「のざくら」が 2 時間に 1 本程度の頻度で運行されている。5 両編成。供食設備としてビュフェ車を 1 両備える。ビュフェ車では弁当、コーヒー、アイスクリーム、ビール、ソフトドリンク等が購入できる（イートイン・持ち帰り両方可能）。ゴールデンウィーク、お盆、シルバーウィーク、年末年始といった多客期は +2 両程度の増結や時間あたり +1 便程度の増発がなされる。

同区間において気動車特急「TKR」も 1 往復運行される。料金は割高であり、全席予約が必要である。6 両編成で運転され、供食設備としてビュフェ車を 1 両備える。ビュフェ車の販売物は「のざくら」と同様である。

2.3.1.5.2 快速

京原まで直通する快速列車が 1 時間に 1 本程度 2 両編成で運行されている。ラッシュ時・多客期は 4 両編成に増結する。

2.3.1.5.3 各駅停車

全列車百枝–沸ノ水の線内で完結する。沸ノ水 – 鳩丘の列車が 1 時間に 1 本、全線走破の列車が 2 時間に 1 本程度運行されており、全列車 2 両編成。

2.3.1.6 上留線

英語名は *Uwadome Line*。全線非電化。全線単線。各駅停車のみが走る。最高速度は 85 km/h。東西本線の行砂より、険しい山を越えながらかつて大勢の炭鉱労働者とその家族で賑わった名残を残す上留炭鉱地区を通り、丘線の鳩丘に至る。路線アルファベットは NG。

2.3.1.6.1 快速

通常は運行されないが、年末年始、GW、お盆など多客期の期間で京原から東西本線・丘線（沸ノ水・鳩丘）経由の上留集落入口・行砂行きが 30 分に 1 本程度設定される。2 両編成。

2.3.1.6.2 各駅停車

ほとんどが行砂 – 社地、返原 – 鳩丘の区間便であり、両者1時間に1–2本程度運転される。上留集落には日常利用者が少なく、また行砂と鳩丘を行き来する需要は多くないため、全線を走破する列車は1日に5本程度である。2両編成。

2.3.2 バス

2.3.2.1 県営バス

県営バスは鉄道省と連携しあい、鉄道と競合するのではなく、鉄道駅の周辺地域からその駅までを結ぶ便を運行している。

2.3.2.2 私営バス

私営バスを運行する会社として「京原交通」が存在する。県営バスの同様駅周辺を結ぶ便も運行しているが、バスの機動性を利用して京原空港を起点に放射線状に様々な地域への輸送を行い、鉄道省と勝負している。

2.3.3 高速道路

東西本線とほぼ並行するように高速道路「田竿自動車道」が存在する。高速道路の運営は「京原道路公団」が担っている。